



輝け 城東っ子



R7. 9. 1

校長 高橋 正和

ほほえみには ほほえみ（やさしく）

今年度の夏休みは、大きな節目となる44日間でした。この節目のチャンスを生かし、自分変化（成長）に気づき、今までにない自分に変化し、さらに成長させようとして、目を輝かせている子供たちがたくさんいました。何と嬉しいことでしょうか。年齢や状況に合わせて変化し、その変化が正しい変化なのか、意味のある変化なのかを「見極める眼」を育て、より輝ける自分に成長していけるよう、全教職員ワンチームとなり指導・支援してまいります。温かく見守っていただけたら幸いです。



さて、想像力を働かせながら読み進めてください。「ピールには 枝豆」・「カレーライスには 福神漬け」・「夕焼けには 赤とんぼ」そして、「ほほえみには …」。そうです「ほほえみには ほほえみ」ですね。ほほえみには、ほほえみがよく似合います。

夏休み明け朝会では、「ほほえみには ほほえみ」（川崎 洋 詩抜粋）を子供たちに紹介し、ほほえみ合える素敵な学校にしましょう。という話をしました。ほほえみを与えられる人、ほほえみで返せる人、そんな素敵な児童のお話を紹介します。登下校の見守りをしていると、「おはようございます」や「さようなら」の言葉を掛けると、「いつもありがとうございます」という言葉が返ってきました。暑さも吹っ飛び、ほほえんでいました。もう一つ、校内巡視をしながらごみを拾っていると「そのごみ、ごみ箱に捨てておきます。」と言ってくれた子がいました。歩き疲れているのも忘れて、ほほえんでいました。子供たちの「やさしく・かしく・たくましく」成長していることを改めて実感しました。城東小学校の子供たちを誇りに思いました。これからも「ほほえみ」溢れる城東小学校を目指します。

安心・安全集会（かしく・たくましく）

今年度は、安全に関する取り組みのひとつとして、朝会の時間を利用し、児童会主催で安心・安全集会を実施しています。夏休み前には、熱中症対策について全児童で考えました。安全担当からの講話や映像を観ながら自分ができることを確認しました。次回も安心・安全をテーマに全児童一緒に考え、安全教育の日常化を目指します。



外部講師と連携した活動（やさしく・かしく・たくましく）

今年度も多くの外部講師をお招きした活動が行われています。「わくわくブック隊」「おはなしこんにちは」をはじめ、SNS 出前講座（6年）、交通安全教室（全）、上下水道お届けセミナー（4年）、リコーダー講習会（3年）、市施設巡り（4年）、薬物乱用防止教室（6年）、宮っ子伝統文化教室（6年）、喫煙防止教室（4年）、おそうじ教室（1年・特学）、歯の健康教室（3年）、子ども自転車免許事業（4年）など、たくさんの関係機関や企業等と連携しながら、子供たちの学びを広げ、知識と実践の融合を目指しています。夏休み明けも学びを広げていきたいと思えます。



サマースクール（かしこく）

夏休みに入って2日目の7月20日（日）に放課後子ども教室企画のサマースクール「親子で作ろう！森の工作教室！」が本年度も行われました。地域協議会や地域の方々のお力をお借りしながら毎年実施しています。今年度は、暑さ対策のため、エアコンが使える音楽室を中心に活動を進めました。放課後子ども教室登録者3・4年生の希望者が親子で集まり、木片や木の実など、自然の素材を使って、自分らしさを表現した素敵な作品に仕上げていました。家庭に持ち帰り、さらにバージョンアップした作品が、夏休み明け学校に飾られています。



PTA 奉仕作業！

夏休みが明ける2日前8月30日（土）にPTA 奉仕作業が行われました。たくさんの保護者の方がお集まりくださり、普段の短い清掃時間ではきれいにできないところを中心にお掃除してくださいました。感謝の気持ちを忘れず、大切な母校をきれいにしていきたいと思います。

暑い中でのご協力ありがとうございました。



納涼城東フェスティバル

8月23日（土）に2年ぶりの城東納涼フェスティバルが行われました。昨年度は、体育館の長寿命化工事のため校庭が使えず、実施することができませんでした。その分、地域の方々の熱い思いが伝わってくるような盛り上がったフェスティバルでした。本校児童もダンスを披露しながら楽しんでいました。子供たちが困難を乗り越え、龍のようにたくましい人間に成長できるよう、城東龍も見事に舞い上がっていました。



特別支援学級合同運動会へ参加（たくましく）

7月4日（金）に第41回宇都宮市・上三川町小学校特別支援学級合同運動会が清原体育館で行われました。本校も今年度初めて参加させていただきました。障害走や玉入れ、綱引きなどの協議に楽しく参加し、一人一人それぞれがピカピカに輝いていました。

＜ことばの窓＞ 本田 宗一郎氏

「人間は、得意とするところをまっしぐらに進めばよい。みんな自然にいいものが出る。」